

世界津波の日記念国際シンポジウム

ジェンダー・多様性の視点からの復興をめざして

2016年10月27日（木）

13:00～17:40（受付12:30～）

会場：世界銀行東京事務所

千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階

東日本大震災からの復興では、国、自治体、民間、大学、NPO、市民、女性、高齢者など、多様な主体や組織の参加・連携が必要不可欠であることが、明らかになってきています。また、災害復興においては、インフラ復旧、住宅再建、高台移転、堤防建設などの事業を広範囲に、かつ迅速に実施しなければなりません。その際、国および自治体や事業者は、地域社会の持つ多様なニーズに応え、住民や市民団体等と合意形成を図りつつ、事業を実施することが求められます。

そこで、国連が11月5日に制定した、「世界津波の日」にあわせ、今後の災害対応のあり方について検討するため、国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、東日本大震災や海外における事例を示しながら、将来の災害への備え・予防を見据えた未来志向的な議論を行い、その成果を市民の日常の防災活動にいかし、さらに自治体・政府・国際機関に対して提言を行います。



主催者：世界津波の日制定記念国際シンポジウム実行委員会（委員長 堂本暁子）

共催団体：防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)
男女共同参画と災害・復興ネットワーク
ARISE ネットワーク・ジャパン
国際協力機構(JICA)、世界銀行東京事務所
国際自然保護連合(IUCN)

後援：内閣府(防災担当)、復興庁
(申請中) 国連ウィメン日本協会

* 本シンポジウムは、公益信託「土木学会学術交流基金」、
国際交流基金アジアセンターの助成を受けて行うものです。

ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION

（世界銀行東京事務所案内図）

都営三田線内幸町駅 A6 出口直結・東京メトロ千代田線霞ヶ関駅 C4 出口より徒歩約5分・JR 新橋駅より徒歩約7分



定員 100名（申込先着順） 参加費 無料

お申込 FAX または E-メールで世界津波の日制定記念国際シンポジウム実行委員会事務局へ（裏面の「参加申込書」に記載のうえお申込み下さい。）

プログラム

13:00 挨拶

【司会 石渡幹夫 JICA 国際協力専門員】

- ・世界銀行 駐日特別代表
- ・国際協力機構(JICA) 社会基盤・平和構築部長
- ・土木学会
- ・国連国際防災戦略事務局(UNISDR) 民間セクター・アライアンス(ARISE) 理事

13:20 提言

1. ジェンダー・多様性と災害リスク削減 (DRR)

堂本暁子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表、本実行委員会委員長

2. 復興まちづくりと合意形成

塩崎賢明 立命館大学教授

14:00 事例発表

- 草の根の災害予防活動について Loreine B. Dela Cruz NGO 防災センター事務局長(フィリピン)
- 復興住宅建設について Lumanti Joshi NGO LUMANTI(ネパール)
- 防潮堤計画と気仙沼市民の動き 三浦友幸 一般社団法人プロジェクトリアス代表理事
- 石巻市北上地域復興まちづくりについて
手島浩之 JIA 東北支部宮城地域会災害対策・まちづくり委員会委員長
佐藤尚美 北上地区復興応援隊員、「We Are One 北上」代表
今野照夫 石巻市復興政策部 ICT 総合推進室長

16:00 パネルディスカッション

【モデレーター 田中由美子 JICA 国際協力専門員】

- Kiran Bhatia 元 UNFPA アジア地域ジェンダー顧問
- Margaret Arnold 世界銀行 上席社会開発専門官
- 島谷幸宏 九州大学教授
- 大橋正明 防災・減災日本 CSO ネットワーク(JCC-DRR) 共同代表
- 佐谷説子 内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(普及啓発・連携担当)
- 手島浩之 日本建築家協会(JIA)東北支部宮城地域会災害対策・まちづくり委員会委員長

参加申込書 下記にご記入のうえ、FAX または E-メールでお申込みください。

氏名:

連絡先:

所属団体:

E-mail:

お申込・お問合せ

世界津波の日制定記念国際シンポジウム実行委員会事務局

(男女共同参画と災害・復興ネットワーク事務局内)

FAX 03-6435-6355

E-mail: saigai.gender@gmail.com